学校番号	T3005

平成31年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	1単位	年次	4年次
使用教科書	高等学校　現代倫理　最新版　（清水書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人間のあり方生き方を学び考える科目です。人間とは何か、皆さんの年頃の青年期とはどういう時期なのか、どういう大人になればいいのか、いかに生きていけばいいのかなど、難しい問題がたくさんあります。有名な哲学や宗教を学ぶ中で、これからの人生に役立つことを見つけられればと思っています。

2　学習の到達目標

さまざまな哲学や宗教について理解する。
人間のあり方生き方について自分のこととして考え、自分のこれからの生き方のヒントを見つける。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：資料活用の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	人間とは何か、どう生きていけば幸せなのかという素朴な疑問は誰しもが抱いている。自分のこととして人間としてのあり方、生き方について考える。	さまざまな哲学や宗教を学ぶ中で共感できるものできないものがあると考える。自分なりに考えたことを表現できる。	視聴覚教材や新聞記事などの活用においてその情報を適切に選択し理解できる。	授業を通してさまざまな哲学や宗教を理解し、知識として身につける。
評価方法	授業プリント 定期考査 観察	授業プリント 定期考査 観察	授業プリント 定期考査 観察	授業プリント 定期考査 観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	現代に生きる自己の課題	○人間とは何か ○青年期の特徴と自己形成	○				a人間とは何か、また、青年期について理解し自己のこととして考える。	授業プリント 観察
5 6 7 9	人間としての自覚と生き方	○人生における哲学 ○人生における宗教 キリスト教 イスラーム 仏教 ○人生の知恵 儒教・道教		○	○	○	d様々な哲学と宗教について理解する。 c視聴覚教材を使用し、様々な宗教について理解を深める。 b自分の生き方について照らし合わせ考える。	授業プリント 観察 定期考査
10 11 12	現代社会と倫理	○現代の倫理的課題 ○現代に生きる人間の倫理 自己肯定 自己実現 民主社会における人間のあり方 個人社会とのかかわり		○		○	d現代社会における倫理的課題を理解し、自分の考えをまとめる。 b自己肯定の理念を理解し、自己肯定について自分のこととしてとらえる。 b自己実現で重要なことを理解し、自分のこととして考える。 b自己と社会との関わりについて考える。	授業プリント 観察 定期考査
1 2・3	国際社会に生きる日本人の自覚	○日本の風土と伝統 仏教伝来と隆盛 儒教の日本化 日本文化と国学 近世庶民の思想 西洋近代思想の受容				○	d日本人の宗教感について理解し、仏教や儒教という外来宗教の影響を強く受けていることを理解する。 d西洋近代思想の影響について理解する。	授業プリント 観察 定期考査

※表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：資料活用の技能　d：知識・理解

※年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）ですべての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている